

(令和5年度) 自己評価表

愛媛県立宇和島東高等学校 (定時制)

学校番号 40

教育方針	人格の完成を目指して、敬愛・自律・進取の精神を培い、21世紀をたくましく生きぬく心身ともに健康な生徒の育成に努めます。	重点目標	日々挑戦 新しい自分との出会い
------	---	------	-----------------

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
自己実現	わかる授業・考える力が身に付く授業の実践	生徒の授業満足度100% A:100% B:99~90% C:89~80% D:79~70% E:70%未満	B	授業満足度のアンケート結果は94%(5点満点中4.7)であった。	生徒の興味・関心や希望進路等を踏まえ、自己実現がかなう履修選択ができるよう、時間割編成等を精査するとともに、相互授業参観や各種研修を通して、教員の資質向上を図る。
		教員の授業参観・研究授業参加5回以上	B	70%の教員が5回以上参加した。	相互授業参観週間の実施時期や回数を精査するとともに、授業に関する教員間の交流の機会が増えるように工夫をする。
		教員の研修会参加5回以上	D	5回以上が40%、3回が30%、2回以下が30%であった。	各種研修の実施、教員の意識向上、業務改善による多忙化解消を目指す。
	学習習慣の確立	各教科小テスト月1回以上	B	90%の教員が月1回以上の小テストを実施している。	基礎学力定着、学習意欲向上に向けた小テストを計画的に、学習評価とも関連付けて実施するとともに、生徒の学習習慣の確立に向けて、今後も粘り強く取り組む。
心身健康で豊かな心	生徒主体の学校行事	学校行事満足度100% A:100% B:99~90% C:89~80% D:79~70% E:70%未満	B	今年度を実施した学校行事については「大変満足」「満足」を合わせると94%であった。	生徒会を中心に希望調査等を行い、生徒の要望をできるだけ反映できるように工夫する。
	一人一人の尊重及び悩み・トラブルの解消	正担任面接5回以上、副担任面接2回以上	B	正担任面接は4回以上、副担任面接は1回以上実施されている。	副担任面接については面接週間などで実施できるように検討したい。
	自分を大切に、他人のことを考えて行動できる生徒の育成	人権侵害・いじめ防止のための取組20回以上 A:20回以上 B:19~17回 C:16~14回 D:13~11回 E:10回以下	B	各課による行事後アンケートや各種面談が実施された。	各課の取組だけでなく、各自の取組を計画実行する機会を検討する。

※評価は5段階 (A:十分成果があった B:かなり成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
心身健康で豊かな心	基本的な生活習慣の定着	年度末出席率90%以上 A：90%以上 B：89～80% C：79～70% D：69～60% E：60%未満	B	1月末までの集計結果は、88.7%であった。	生徒一人一人に寄り添った支援を今後も継続し、充実させる。
	コミュニケーション能力・表現力の向上	生徒生活体験発表の指導の充実 ・県大会入賞（4位以内）	E	県大会への出場が0名という結果であった。来年度以降、指導方法の改善をする必要がある。	作文作成を通して個々の生徒が成長を感じられるような取組や、指導形態の改善を図りたい。
	部活動の充実	県定通総体参加率90%以上 A：90%以上 B：89～80% C：79～70% D：69～60% E：60%未満	B	応援での参加生徒、学校待機での応援生徒を含めて80%であった。	競技の楽しさを理解させることにより、自発的に選手として参加するように促す。
		部活動重点活動日における生徒参加率60%以上 A：60%以上 B：59～55% C：54～50% D：49～45% E：45%未満	B	今年度の集計結果は55%であった。個人別では、参加率が6割を超える生徒は15名であった。	各顧問と連携し、積極的に参加できる雰囲気づくりを行う。
社会的自立と社会参画	人や社会とのつながりを大切にする態度の育成	挨拶の励行と式典での正装率100% A：100% B：99～90% C：89～80% D：79～70% E：70%未満	A	式典での正装率は100%であった。挨拶の励行については、ほとんどの生徒ができていた。	正装については、引き続き指導の徹底を図る。挨拶については、教員から積極的な挨拶や声掛けを行う。
	希望進路の実現	進路指導講話4回以上	B	1月末までに、進路セミナー1回、講話2回を実施済み。3月にそれぞれ1回ずつ実施を予定しており、年度内に合計5回実施見込みである。	生徒の進路意識を高め、前向きな姿勢を醸成する内容を準備し、事後の指導を通して生徒の状況を把握するように努める。
		就職希望者及び進学希望者の進路決定率100% A：100% B：99～85% C：84～70% D：69～55% E：55%未満	B	1月末までの集計で、進学希望者4名、就職希望者1名合格であった。フリーターが3名である。	生徒の進路希望を定期的に把握し、きめ細かな指導を行うことで第一希望全員合格を目指す。

※評価は5段階（A：十分成果があった B：かなり成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
社会的自立と社会参画	地域社会に貢献する態度の育成	ボランティア活動2回以上参加100% A : 100% B : 99~90% C : 89~80% D : 79~70% E : 70%未満	C	1月末までに、9回実施し、2回以上活動に参加した生徒は82%、1回以上活動に参加した生徒は87%であった。	生徒が参加したい活動を取り入れるために、生徒の意見を聞き、内容を考えていきたい。
業務改善	適切な勤務時間	1か月の時間外勤務時間の合計30時間以内100% A : 100% B : 99~90% C : 89~80% D : 79~70% E : 70%未満	B	年間通して90%の教員が目標を達成できている良好な状態である。しかし、時期によっては、時間外勤務時間が増加する時もあった。	時期によっては、特定の課に業務が集中することがあるので、業務の分担や学校行事の時期を再検討するなど、対策を講じていきたい。
	ワーク・ライフ・バランスの適正化	ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じる教職員の割合100% A : 100% B : 99~90% C : 89~80% D : 79~70% E : 70%未満	B	アンケート結果によると、上半期はすべての教員が目標を達成していたが、上半期は90%となり、若干減少した。	業務において相談したり協力したりしやすい風通しのよい職場をつくることで、業務の効率化を図るとともに、仕事にやりがいを感じられるようにしていきたい。

※評価は5段階（A:十分成果があった B:かなり成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった）